



ひしおのお雛まつり2024

古布万象展

作り手 檜木和子

2024年2月25日(日)〜3月10日(日)

勝山文化往来館ひしおホール

10時〜16時30分 水曜休館
入場料：300円 中学生以下無料

主催：特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会

後援：真庭市／(一社)真庭観光局／勝山観光協会

お問合せ：勝山文化往来館ひしお 岡山県真庭市勝山16213

TEL&FAX 086714415880



古布万象展

作り手 榎木和子

日時 2024年2月25日(日)～3月10日(日)

10:00～16:30 | 水曜休館

会場 勝山文化往来館ひしお | 入場料300円

岡山県真庭市勝山162-3

tel.0867-44-5880

HP: <http://hishioarts.com>

E-mail: info@hishioarts.com



オープニングトーク 榎木和子さんによる作品解説など

■日時:2024年2月25日(日) 14:00～14:45 | 要入場料

榎木和子さんとは、お雛さまから授かった御縁でしょうか…昨春、御前酒蔵元のお雛まつり「ちりめん細工で綴る五節句」花房昌古さんの作品展に娘さん、お弟子さんとお越しくださいました。如意山房でひとしきりお話が弾み、花房さんと親交があった事、そしてお持ちくださった作品集「古布万象」をめくったその瞬間、素晴らしさに心を奪われました。写真ではなく、本物を是非見たい衝動に駆られ、「来春、ひしおのお雛まつりで作品展をお願いできませんでしょうか?」と初対面ながらお願いしてみましたところ、「本当に最後の最後の力を振り絞って頑張ってみようかしら」との嬉しい御返事に心が躍りました。

今では薄らいでしまった五節句や、日本のゆかしい伝統的年中行事を美しい古布と卓越した技で、芸術性高く、可愛らしく表現しています。

お逢いするたび、言葉の端々から次の作品づくりの情熱が湧き上がるのを感じます。美しい作品を追い求める作家魂なのでしょね。

時の流れの中で失われてしまう古布に新しい命を与える作品。40数年に渡る古布万象。どうぞ、上品さと愛らしさがほのぼのと漂う榎木ワールド、春のひとつときをゆったりとお楽しみくださいませ。

館長 辻 智子

榎木和子 KASHIKI KAZUKO

- 1942 兵庫県姫路市に生まれる
- 1980 古布木綿のパッチワークを独学ではじめる
- 1993 榎木喜瑠工房グループによる展覧会を姫路文化センターにて開催
作品集「藍・華・綴り」を出版
- 1998 榎木喜瑠工房グループによる展覧会を姫路文学館にて開催
- 2005 個展「蓮の宇宙間を綴る美」を姫路文学館にて開催
- 2006 神戸波止場町TEN×TENオープン記念にて作品展示
- 2007 神戸波止場町TEN×TENにて神戸ビエンナーレ協賛「藍・華・綴り」展開催
- 2009 播磨工芸美術展にて「いにしへの想ひ」を招待出品
「藍・華・綴り」展を姫路市書写の里・美術工芸館にて開催
- 2011 兵庫工芸展(公募の部)にて「五節句」が兵庫県教育委員会賞受賞
〈野に咲く花〉が入選
全国手工芸コンクールにて「百徳・祝着」が優秀賞受賞
兵庫ふれあい美術館にて「和と和のつながり」兵庫県工芸作家協会賞受賞
- 2012 兵庫工芸展(公募の部)にて「108の花びら未来にとどける」が入選
個展「華間を綴る美」兵庫県こどもの館にて開催
兵庫ふれあい美術館にて「世界はひとつ」兵庫県会議長賞受賞
- 2014 全国手工芸コンクールにて「心の想い紅花を温む」が優秀賞受賞
- 2015 作品集「古布万象」を出版
個展「古布万象」を姫路市民プラザ「イーグレひめじ」にて開催
古布万象グループ展による展覧会を姫路城西御屋敷跡庭園 好古園にて開催
- 2022 古布万象 80歳を迎えて姫路文学館望景亭にて個展



勝山イベント
・勝山のお雛まつり 3/1-3/5
会場：勝山町並み保存地区・新町商店街他

・蔵元のお雛まつり2024 3/1-3/5
会場：御前酒蔵元の奥座敷「如意山房」
内容：『衣裳蔵 長持の中のきものたちIV』

早春の勝山を彩る風物詩。
合わせてご高覧ください。

会場で作品集「古布万象」を販売します

